

土浦市民憲章

1. たがいに信じ 助けあう
あたたかいところを そだてましょう
1. からだをきたえ 仕事にはげみ
あかるい家庭を きずきましょう
1. 自然を愛し 水とみどりの
きれいなまちを つくりましょう
1. 知性を高め 教養をつちかい
文化のみりを ひろげましょう
1. 伝統をふまえ 未来をみつめる
若い力を のばしましょう

にいはり

— 第33号 —

発行・編集：新治地区市民委員会文化広報部

事務局：新治地区コミュニティセンター内（新治地区公民館）

TEL 029-862-2673 FAX 029-862-5516

発行日：令和6年3月31日



本号の内容

- 第61回新春歩け会 1
- 新治地区コミュニティまつり
..... 2
- 後期公民館講座 3～4
- 市民委員会活動 4～5
- 新治学園義務教育学校だより
..... 6
- 新治地区だより 6～7
- 新治の文化をたどる (32) 8

各位に心よりお礼申し上げます。
結ぶに、第61回大会の開催にあたりご協力いただきましたスタッフ、協賛事業者様を始めとした関係者にお年玉抽選会に臨みました。

当日はやや曇りがちな天候でしたが、時折薄日が差し、風も弱く、長距離のウォーキングをするには、絶好のコンディション。最終盤に控える急坂を登り切り、ゴールした後は、温かいカレーライスと豚汁でペコペコになったお腹を満たし、お待ちかねのお年玉抽選会に臨みました。

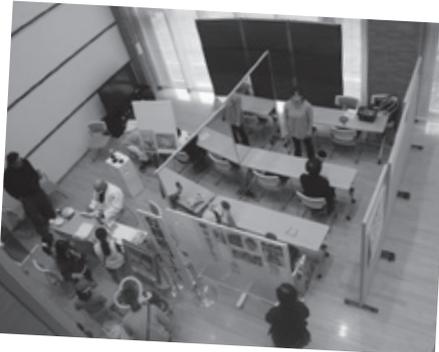
お正月恒例の「新春歩け会」が、1月3日に開催されました。新治村時代の昭和37年に始まり、今年で第61回を数える長い歴史の中で、1月2日以外の日に行われたのは、今回が初めてのことです。
新治地区公民館を出発し、筑波山ホテル青木屋までの約14kmの道のりを、総勢189名が冬の厳しい寒さをもとせず、元気いっぱい歩きました。

令和5年度
第61回 新春歩け会

第16回 新治地区コミュニティまつり

10月27日（金）から29日（日）までの3日間にわたり、新治地区公民館及び新治トレーニングセンターにおいて、新治地区コミュニティまつりが開催されました。新型コロナの影響で、令和2年度と令和3年度は開催を見合わせ、令和4年度は規模を大幅に縮小しての開催だったため、4年ぶりの通常開催となり、新治地区で活動する同好会を始め、藤沢・高岡保育園、新治学園義務教育学校による文化芸術作品展、各種芸能発表などが行われたほか、スポーツ吹矢などの各種体験コーナーや模擬店が設けられました。

最終日となる29日は、朝方こそ小雨に見舞われましたが、午前中のうちには天候が回復し、焼きそば・綿あめなどの模擬店やバルーンアート作りを始めとした各種コーナーは、順番待ちの列ができるほどの大盛況で、行楽の秋ならではの賑わいに包まれました。



令和5年度 後期公民館講座

太極拳で体力作り

講師 塚本 芙美子 先生



太極拳は武術として中国で発祥しましたが、現在では、健康法の一つとして多くの人々に親しまれており、体全体を使ってゆっくりと動作を行います。体力作りに効果があり、特に下半身・足腰が鍛えられ、ストレスを軽減させる効果も期待されています。呼吸に合わせて体を動かすのが基本ですが、吸うよりも吐く方が大事とのこと。楽しく体を鍛えることが長続きの秘訣と、講師の先生は常に笑顔で絶やさず和やかに指導されておりました。

二十四ある型を、焦らず・威張らず・怒らず・腐らず・怠らず実践し、交感神経、副交感神経を整えます。初めのうちは先生の動きを真似るだけで精一杯でしたが、アシスタントの方々が丁寧に指導してくださいました。受講を重ねるうちに体の芯がブレず、よろめかなくなり、体調もよくなりました。人生100年時代、元気で長生きするために、太極拳をやってみませんか。

終活の始め方〜相続の基礎知識〜

講師 水戸証券株相続診断士



人生100年時代に、「相続の基礎知識を身につけて未来を設計しましょう」との趣旨で開催されました。

「相続はまだ先の話だから、うちの家族はみんな仲良しだから、うちはそんなに資産はないから関係ないと考えていませんか？」との問いかけから講義が始まりました。

りました。遺産分割事件の8割近くが、財産5千万円以下の案件で、4割強が兄弟姉妹間の相続トラブルとのこと。相続とは、ある人が死亡したときに、その人の財産を相続人が引き継ぐことで、財産にはプラスの財産、マイナスの財産、非課税財産等があり、基礎控除額を超えた部分に相続税がかかります。その節税対策として、財産を減らす方法・生前贈与活用のポイントなども学びました。

また、平均寿命と健康寿命の差を短くすることが重要で、「適度な運動」「適切な食生活」「禁煙」がキーワードになるお話がありました。

最後の質疑応答では、皆さん熱心に質問し、予定時間を超えて講座は終了しました。終活を始めることで、人生を最後まで自分らしく生きるために、限りある時間の上手な使い方を考えることができます。残される家族のためにも、終活について、学び・考え・整理し、実践してみたいかがででしょうか。

秋の身近な山菜と薬草観察と試食

講師 栗原 孝 先生

本講座は10年以上前から続く定番のシリーズで、今回も観察・試食と2日間に分けて実施されました。

1日目は小雨模様の中、流鏝馬祭でお馴染みの日枝神社周辺を散策しながら野草を観察。受講生たちは資料と照らし合わせながら、先生の説明に耳を傾け、熱心にメモを取っていました。

2日目は新治地区公民館に会場を移し、先生が用意してくださった薬草や木



の実の調理と試食を行いました。先生から薬効や食べ方の説明を受けながら、オカジュンサイのおひたしを作ったり、キクタニギクを煎じてお茶にしたりと、和

みんなで楽しくストレッチ

講師 豊田 彩乃 先生

ヨガや筋トレなどでもよく言われることですが、ストレッチをする場合においても、呼吸が大事とのこと。しっかりと息を吸い込んで、ゆっくり長く吐くことがポイントで、呼吸法の中でも腹式呼吸が体内に取り込む酸素量が多いので適しているそうです。

とは言われても、大きな動作をするときは、つい息を止めてしまいがちです。「しっかりと吸って、ゆっくり長く吐く」と心の中で念じながら、見よう見まねで必死に全身を伸ばしました。

そして不思議なことに、呼吸が正しくできるようになるにつれ、筋肉が伸びるのを感じられるようになりました。

人生100年時代の到来に備え、『健康寿命』という言葉に注目が集まるようになりまして。健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく

生活できる期間」と定義されており、これまでの「1つりあえず」長生きする「から」いかに健康で長生きするか」に、人々の関心がシフトしてきたようです。ストレッチには、タオルなどの小道具のほかに、特別な道具や広い場所を必要としません。思い立つたらどこでもできるので、この受講を機に、健康寿命を少しでも延ばすため、これからも継続していこうと、年頭に誓いを立てました。



ロマンの里「新治探訪」IX

講師 市観光ボランティアガイド

令和元年度から始まったロマンの里「新治探訪」のシリーズ9は、2日間に分けて実施され、初日は小町山(標高361m)から宝篋山(標高461m)へのハイキングを楽しみました。

昨今の健康ブームと相まって、健康ハイキングの人氣が中高年層を中心に広がっているとのこと、それぞれの山頂付近は平日だというのに、大勢のハイカーたちで賑わっていました。また、山頂からの眺めはまさに絶景で、とりわけ宝篋山山頂から望む桜川は、とても雄大に感じられました。宝篋山は別名小田山とも呼ばれていることから、つくば市にある山だとはばかり思っていました。本市との境に位置することを今回初めて知りました。

2日目は新治の城址探訪と題して、小町の館から甲山城址↓本郷館跡↓永井城址を巡りました。主郭を取り囲んでいた土塁や堀などの遺構を眺めていると、時代劇でしばしば見かけるような、戦国時代の合戦シーンが脳裏に浮かんできました。

皆さんも、ロマンの里『新治』を堪能できるコースを、ぜひ一度歩いてみませんか。



**令和5年度
市民委員会活動**

昨年5月に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行したことに伴い、令和5年度は、感染拡大防止に配慮しつつも、ほぼ例年通りに活動することができました。

環境部

環境部では、花いっぱい運動やクリーン作戦などの環境保全に関する事業を行っています。



6月3日(土)、マリーゴールドとサルビアの花苗植え付け作業を行いました。これらの花は順調に育ち、第52回花いっぱい運動では優良賞を受賞し、年末まで来館者の目を楽しませることができました。

10月7日(土)の土浦市環境展で展示された、新治学園児童生徒による「環境ポスター」を10月27日(金)〜29日(日)に開催された新治地区コミュニティまつりでも、皆さんにご覧いただき

ました。
また、12月16日(土)にはボランティア団体の皆さんの協力を得て、新治地区公民館周辺の合同クリーン作戦を実施しました。車で通過する際には気づかないゴミが、たくさんありました。

スポーツ健康部



スポーツ健康部では、新治地区スポーツ協会と連携を図りながら、地区住民の健康と体力増進を目的とした事業を実施しています。令和5年度の主な活動について、次の通り報告いたします。

- ① **新治地区市民体育祭**
久しぶりの開催となりましたが、参加者の皆さまには、とても楽しんでいただけたようです。
- ② **新治地区コミュニティまつり**
スポーツ健康部が担当した射的コーナーには、子どもたちの列が切れ目なく続き、あつという間に1日が過ぎました。
- ③ **県外歩け会(裏磐梯五色沼)**
前日に雪が降り、足元が悪い中でのハイキングが、思い出の一つとなりました。
- ④ **新春歩け会**
長い歴史の中で、初めて1月3日に開

催しました。薄曇りの中、老若男女がそれぞれのペースで青木屋さんに到着。ゴール後に食べたカレーと豚汁が格別で、メインイベントのお年玉抽選会も、大いに盛り上がりました。

青少年育成部



青少年育成部では、令和5年度もチャレンジクラブへの協力をメインに活動しました。チャレンジクラブは文化・スポーツ・福

祉などの様々な体験活動を通し、社会性の向上・体力の増進・郷土愛の醸成・環境に対する関心を高める等、子どもたちの健全な育成を図ることを目的に実施しています。

令和5年度の新治地区のチャレンジクラブは、新治学園の4〜6年生を対象に、4年生5名、5年生6名、6年生4名の合計15名が3班に分かれて活動しました。

5月に開講式と「バルーンアート」、6月は「デイキャンプで防災術」、7月は「笠間焼き体験」、8月は「スポーツ吹矢に挑戦」、9月は「おもろ理科教室」、10月には4年ぶりの通常開催となった「新治地区」コミュニティまつり」に参加しました。さらに11月は日本八

ムの下館工房で「手作りソーセージ体験」、年が明けた1月には「新春歩け会」に参加し、2月の「料理作りでお別れ会」で閉講式を行いました。今後もバラエティーに富んだ事業を実施してまいります。

文化広報部



文化広報部では各委員が取材・編集作業に取り組み、年に2回「広報にいほり」を発行しています。令和5年度は、紙面のさらなる充実を図るため、市広報広聴課の職員を講師に招き、広報紙のつくり方について出前講座を受講しました。

また、11月18日(土)には、土浦ユネスコ協会との共催により、国際理解教室『世界の友達と話そう』を開催し、フランス出身の小澤モニックさん、中国出身の霍雨佳(カクウカ)さんから、それぞれの国の文化や生活習慣についてお話を伺いました。

フランスは農業国であり、チーズやバターは自家製する家庭が多く、中国の深圳では配送ロボットの活用など、日常生活の様々な場面でハイテク化が進んでいるとのことでした。

フランス・中国ならではの飲み物やお菓子の差し入れに舌鼓を打ちながら、和やかで賑やかな雰囲気の中、交流を図ることができました。これを機に、両国と日本の理解がさらに深まればと思います。

安全部

令和5年度の活動について、ご報告させていただきます。安全部の活動は、防災・防犯・交通安全の分野での市民委員会への参加協力です。

10月には新治地区市民体育祭と新治地区コミュニティまつりで駐車場案内係を担当し、安全協会の方々の協力をいただきながら、事故なく無事に誘導することができました。

12月に行われたクリーン作戦で、安全部は新治地区公民館から新治総合福祉センターまでのコースを任せられ、終了後は各地区の部員へ、啓発用の「のぼり旗」を配布いたしました。



年明け1月3日に「新春歩け会」を控えた中での、能登半島地震には大変驚きました。当

日は被災地へ思いを馳せながらも、与えられた役割を全部員が全うしました。3月におおひなさま会と自転車利用時の交通ルールに関する交通安全研修会を開催し、令和5年度の活動を終えました。

福祉部



4年ぶりの通常開催となった新治地区コミュニティまつりでは、焼き芋コーナーを担当しました。3年間のプランクを心配しましたが、カラダが作業のコツを覚えていたようで、たくさん用意していたお芋を全て売り切ることができました。

また、年末にはボランティア団体と市民委員会合同で行われたクリーン作戦に参加しました。福祉部は新治地区公民館から125号線バイパスを鷺神社入口まで向かうコースを担当し、新年を清々しい気持ちで迎えられよう、額に汗しながら、沿道に落ちたゴミを回収しました。

そして3月には、社会福祉協議会新治支部主催のおひなさま会食事に協力し、ひとり暮らしの高齢者の方たちと交流を図ったほか、交通安全研修会を開催し、昨今話題のあおり運転対策や自転車運転時の交通ルールなどを学びました。

新治学園義務教育 学校だより



地域とともにある学校を目指し、土浦市内の他校に先駆けて「コミュニケーションスクール」の研究に努めてきた新治学園義務教育学校。

3、5年生が合同で行った田植えと稲刈り学習では、近くの水田をお借りして、地域の方々のご指導により、立派なお米を収穫することができました。

2年生の「まちたんけん」では、地域のお店や事業所の方にインタビューを受けていただいただけでなく、交通安全確保のために、地域の方々が見守りとともに歩いて、見守りをしてくださいました。

後期課程の生徒が中心に行った廃品回収では、各地区からリサイクル品を寄せていただき、校内整備の資金とさせていただきます。

また、学校ボランティアの方々には、家庭科の裁縫の補助、学校周辺の除草作業、活動の引率や見守りなど幅広くお力添えをいただき、おかげさまで、子どもたちは集中して学びに向かい、学習を深めることができています。

学校運営協議会を中心に、教育活動のさらなる充実を目指し、地域の皆さまとともに様々な活動に取り組むことで、みんなが誇れる「地域の学校」であり続けたいと考えています。

今後ともご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



▲まちたんけん



▲稲刈り学習



▲見守り



▲廃品回収



足元がぬかるんでいたため、靴の中はスタート直後に濡れてしまいましたが、アップダウンの少ないコースでしたので、当初の予定通りゴールすることができました。

さて、想定外の雪上散策となりましたが、雪景色によって五色沼の美しさが一層際立っていました。溶け始めた雪で

早朝に総勢44名で新治地区公民館を出発し、目的地の裏磐梯五色沼に近づくと、驚いたことに、あたり一面銀世界。前夜に大雪が降ったとのことでした。茨城県南地区では、この時期に雪が積もることなどまずあり得ませんが、裏磐梯地方では珍しいことではないと、地元の方が仰っていました。除雪車が出勤し、雪は道路脇に寄せられていましたので、無事に五色沼へ到着しました。

県外歩け会

新治地区の三大スポーツ行事の一つ、県外歩け会が11月19日(日)に行われました。

新治地区だより

散策終了後は、地元の温泉施設で冷えた体を温め、道の駅に立ち寄って名産品に舌鼓を打ち、帰路に着きました。

木村優人選手入団祝賀会



▲記念撮影に収まる木村選手（左から3人目）

昨秋のプロ野球ドラフト会議で、千葉ロッテマリーンズから3位で指名された木村優人選手（田宮出身）の入団祝賀会が12月23日（土）に新治地区公民館で開催されました。

霞ヶ浦高校時代の木村選手は、甲子園出場こそ叶わなかったものの、U18野球ワールドカップの代表に選出され、日本の初優勝に貢献。世代屈指の右腕として、高い評価を受けていました。

この日は、木村選手が小学生時代に所属した藤沢イーグルスの関係者を中心に約100名が出席し、木村選手の新たな門出を祝福。木村選手は、『まずは1、2年かけてじっくりと体を作り、将来的

には自信のある真つ直ぐを武器に、日本を代表する投手に成長したい』とプロでの抱負を語りました。

新治地区市民体育祭

10月8日（日）、新治学園義務教育学校グラウンドにて、新治地区市民体育祭が盛大に開催されました。大雨や新型コロナウイルスの影響で中止が続いていたため、5年ぶりの開催です。

茨城県から無形民俗文化財に指定されている『田宮ばやし』の演奏を皮切りに、新治音頭を踊って気分を盛り上げ、熱戦の火ぶたが切って落とされました。

とりわけ、最後のじゃんけん大会は大盛り上がりで、優勝賞品の自転車を獲得した3名の方々は、グラウンド狭しとウイングランを繰り返して、勝利の喜びを爆発させていました。



ひとり暮らし高齢者交流会

社会福祉協議会新治支部では、ひとり暮らしをされているお年寄りの孤独感の解消と親睦・交流を目的とした、『ひとり暮らし高齢者交流会』を、新治地区民生委員児童委員協議会のご協力のもと、12月8日（金）に実施しました。

今回のメインの目的地は、日本三大稲荷の一つである笠間稲荷神社です。神社を参拝した後は、笠間稲荷門前通りをぶらりと歩き、栗を使用したお菓子やいなり寿司などの地元の名産品を堪能したり、お土産を買ったりしました。

また、昼食を挟んで「道の駅かさま」と「イトウ製菓第一工場」（小美玉市）に併設された直売所に立ち寄り、手に持たきれないほどのお土産を買って帰りました。



新治ブロック地区長会から

次の①～③について、新治ブロック地区長会令和6年度要望として、土浦市に提出しましたので、ご報告いたします。

①小学校跡地の利活用について

旧藤沢小学校と旧斗利出小学校について、閉校から5年以上経過した現在も、活用途未定の状況が続いていることから、既存の遊具を活かし、子どもたちがのびのびと遊べる公園として活用することを提案します。

②市道新治南314号線と土浦小野線を結ぶ取り付け道路の新設について

市道新治南314号線から土浦小野線への抜け道として農道を通過する大型ダンプの増加により、農道の舗装の損傷が目立つ状況にあることから、新治南314号線と土浦小野線を結ぶ強固な取り付け道路を新設してもらいたい。

③りんりんロードと交差する農道の交通安全対策について

市道虫掛66号線の開通以来、その延長線上に位置する市道新治南314号線の交通量が著しく増加し、並走するりんりんロードや交差する農道での事故の危険性が高まっていることから、交通安全対策として、りんりんロードを横断する箇所には段差ブロック等を設置してもらいたい。

ブロック地区長会からの要望に対する回答は、5月頃開催の地区長連合会総会で各地区長に冊子で配布される予定です。

新治の文化をたどる (32)

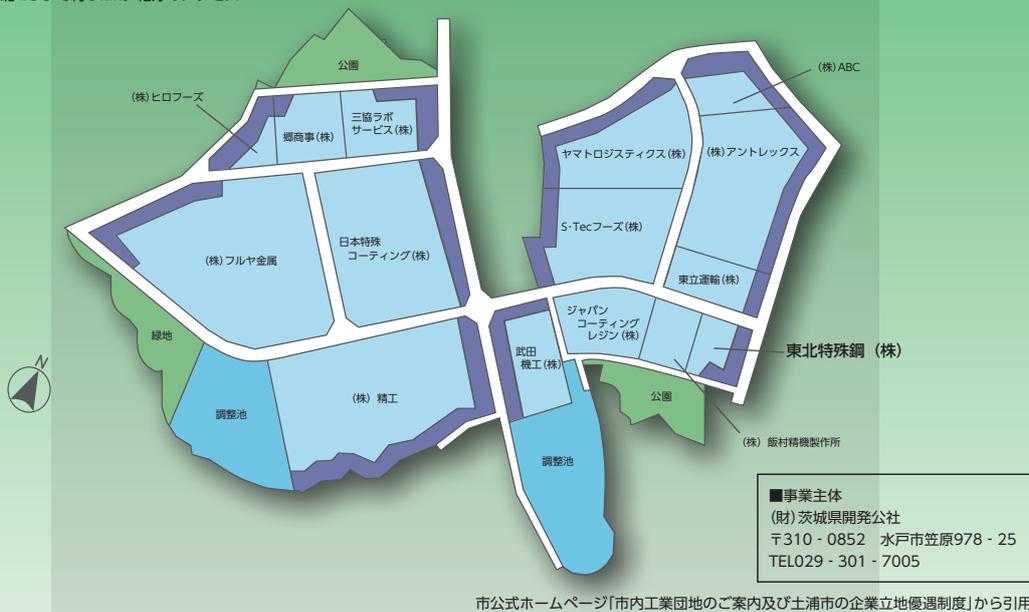
「東筑波新治工業団地」

東北特殊鋼株式会社

- 所在地 土浦市沢辺及び本郷
- 用途地域 工業専用地域
- 開発面積 35.3ha 工業用地面積 24.4ha
- 建ぺい率 60% 容積率 200%
- その他 企業立地重点促進区域、誘導地域、工業適地

東筑波新治工業団地

土浦北ICまで約3km。絶好のアクセス



市公式ホームページ「市内工業団地のご案内及び土浦市の企業立地優遇制度」から引用



東北特殊鋼株式会社は本社が宮城県村田町にある、創業86年の特殊鋼メーカーです。自動車エンジンに使用される耐熱鋼や、当社が世界で初めて開発した電磁ステンレス鋼などの特殊鋼を製造しています。当社の特殊鋼は自動車や家電など身の回りのものだけではなく、半導体製造装置や産業機械などの幅広い用途で使用されています。

土浦工場は1986年に国内2つ目の熱処理加工の拠点として、土浦市の神立地区で操業を始め、事業拡大のため2007年に現在の東筑波新治工業団地に移転してきました。

同工場では、お客様からお預かりした金属製品を真空熱処理炉で熱処理加工する受託加工を行っております。金属製品の熱ひずみや酸化着色などに対して、当社の特殊鋼製造のノウハウを活かした独自の安定化技術を用い

て、お客様に寄り添った高品質なサービスを提供しています。

今後も「安全、環境、防災」を基軸とした事業活動を通して、地域の皆さまや従業員の豊かな暮らしと、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。引き続き土浦市新治地区の一員として、東北特殊鋼をよろしくお願いたします。



▲東北特殊鋼(株) イメージキャラクター 「麒麟のハガネくん」

編集後記

三寒四温を繰り返しながら季節は春へと移ろい、桜の花も満開となりました。

令和5年度は、新型コロナウイルスが5類に移行したことを受け、新治地区においても公民館行事を始め、各種事業が次々と再開されました。文化広報部でも、市広報広聴課の出前講座を受け、紙面の充実を目指しました。

第33号発行にご協力をいただきました、編集委員、事務局、全ての皆さまに心より感謝申し上げます。

ご意見、ご希望は、文化広報部迄

(T・M)